

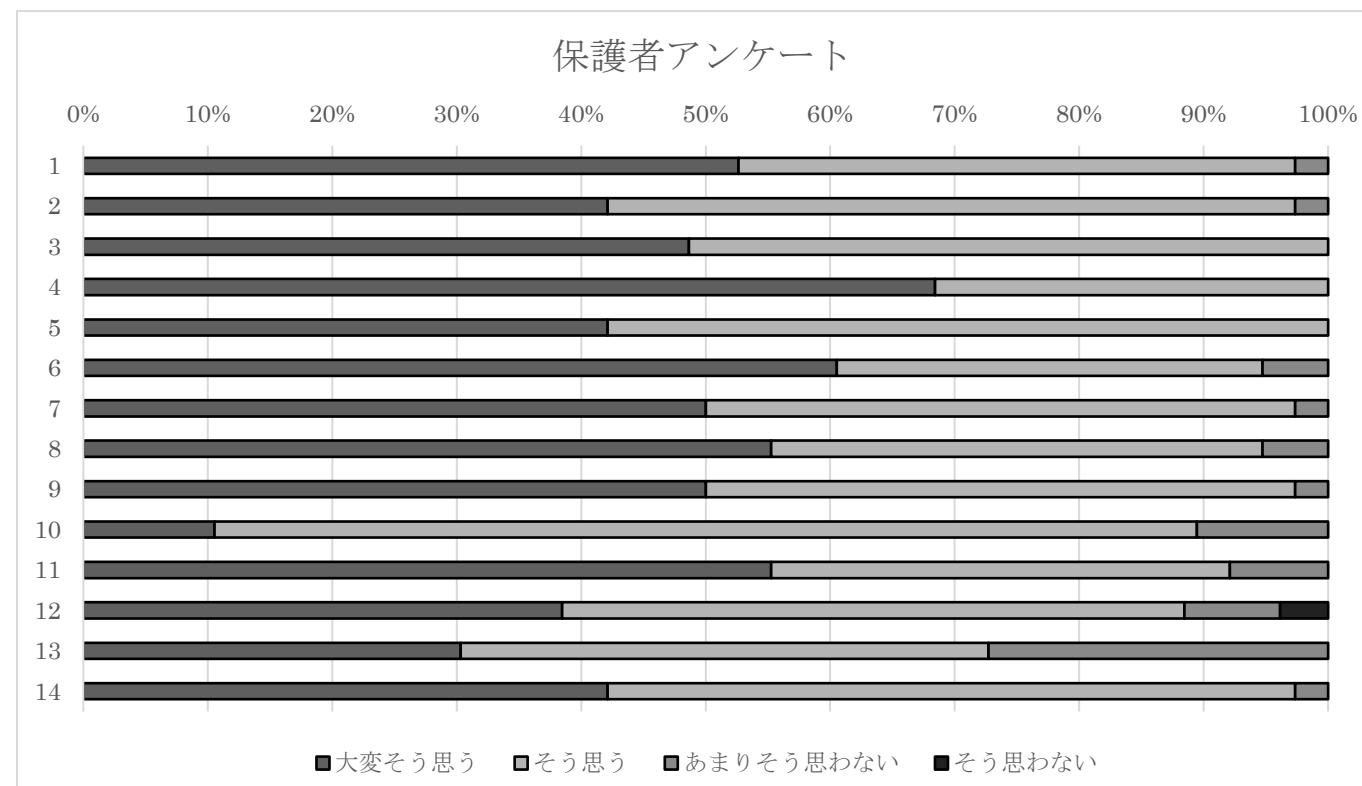
乾隆幼稚園だより特別号

京都市立乾隆幼稚園

園長 豊田 寿美夫

保護者・地域のみなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
(10月)に実施した保護者アンケートの集計ができました。結果をお知らせいたします。

| | |
|----|---|
| 1 | 幼稚園は教育目標「心身ともに健やかで生き生きとした子どもの育てる」に向けての保育を行っている。 |
| 2 | 幼稚園の環境は、安全で子どもが豊かな経験ができるように整えられている。 |
| 3 | 保幼小連携・地域との連携等の取組は子どもの育ちにつながっている。 |
| 4 | 幼稚園には、さくらんぼ組や預かり保育等の子育て支援の取組のあることを知っている。 |
| 5 | 幼稚園は、お便り(子どもの姿)やホームページで活動の様子がわかるように発信している。 |
| 6 | 教職員は、子ども一人一人に温かいかかわりをしている。 |
| 7 | 教職員は、生き生きと働いている。 |
| 8 | お子さんは、楽しく幼稚園に通っている。 |
| 9 | お子さんには、今、夢中になっているものがある。 |
| 10 | お子さんは、自分のことは自分でしようとする。 |
| 11 | お子さんは、家族、友達、先生など周りの人に親しみをもってかかわっている。 |
| 12 | お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している。(利用者のみ) |
| 13 | 「ノーテレビ、ノーゲームデー」の取組だけでなく、普段から親子で絵本を読むことを続けている。 |
| 14 | 幼稚園での出来事など、お子さんの話に共感したり対話したりする機会は多くもてている。 |



今年度はコロナウイルス感染拡大防止により、4、5月が臨時休業となり、6月からのスタートとなりました。幼稚園の午後保育は9月からです。従って、本当に短い前期の評価となります。またコロナ禍の中の園生活ですので、例年との比較もしにくい状態になっています。例えば、項目3の幼小連携や地域とのつながりについてアンケートでも大切であるというご意見はいただいておりますが、今年度ここまで、子ども同士の交流や地域に顔を出してのイベントはほぼ皆無の状況になっています。園としてもできる範囲での園生活、行事をしている状況です。

項目5、昨年ご指摘いただいたホームページについては、休業中を含め、発信してきたことは、少し改善につながったかもしれません。

今回、一項目ずつ考察するのではなく、記述欄に書いていただいたことをもとにまとめさせていただきます。

①コロナ関係

○弁当の時、しゃべる子がいる。○マスクがきちんとつけていない子がいる。○風邪気味で登園している子がいる。○行事は今後どうなるのか等々不安に思うことが多い。

・昼食時、全員同方向または衝立を使用しています。また、できるだけ静かに食べるように指導しています。マスクについては、原則、園内では着用するように指導していますが、運動時外すこともあります。発熱を伴うことはもちろん、体調が悪い時には、休むようにお願いしています。配付済みのコロナ関係のお便りは変更されませんので、確認お願いします。

・コロナに関しては、どこまですればよいのか、何が正解であるのか等、明確ではありません。京都市教育委員会や園長会の方針を受け、やれることを手探りでやっているところです。幼稚園児が対象ですので完璧には参りませんが、園全体で意識して、安心して園生活が送れるように努めたいと思います。不安なことが多いでしょうが園へのご支援よろしくお願いします。

②幼稚園の取組関係

○飼育動物に関して、子どもたちのためにももっと飼ったらどうか。

・現在、飼育小屋には、インコ5羽とうさぎ2羽います。別にうさぎを1羽と亀2匹、魚、ザリガニなどを飼っています。先日、小屋のうさぎ「ピョン」が弱っていることを、子どもたちが気付きました。動物病院で診てもらい、けがについては薬での治療をして少し良くなりましたが、どうも年齢が高く、元のように回復することはないそうです。まずは子どもたちと一緒に2羽のうさぎを見てやりたいと考えています。

③未就園児について

○園児獲得のためにも、子育て支援の取組を強化してはどうか。

・有難い提案です。やれることはすぐにでも取り入れていきたいと考えます。人的、物的、枠組み等々で実行できないこともありますので、ご意見を参考に検討していきたいと思います。

④子どもたちや家庭の様子について

○絵本貸出の曜日指定がなくなり、自由に本を借りることができ、借りた冊数が増えた。

・コロナ対策もあり、特に曜日指定をせず、密でなく借りやすい時に絵本室に行っていただくようになりました。借りた冊数が増えたというご意見がある反面、項目13の結果が良くないのは、絵本貸出を控えている家庭もあるのではないかと思います。絵本を読む習慣は大切ですので、対策を考えていきたいと思います。

・それに比べて項目14がいい結果になっています。学齢期になっても家庭でのコミュニケーションは大切ですので、幼稚園の段階から親子の会話を続けてください。その時に、絵本を話題の一つにしていくと、絵本の読み聞かせも習慣化されるかもしれません。